社会福祉法人　植竹会

令和５年度　事業報告

法人理念

子ども達のゆたかな成長を支援し、高齢者のゆたかな老後を支援する

令和５年度　社会福祉法人　事業報告

　〇ゆたかごはん

　〇認知症サポーター養成講座

　〇知ってもらおう介護の仕事

　〇なんでも福祉相談（群馬県圏域公益的事業）

　〇ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）ホームビジター養成講座開催

　〇ＢＣＰ策定検討（地震想定）

　〇ＳＮＳによる日常の発信

令和５年度　事業報告

ゆたか保育園・ゆたか第二保育園

１）行事関係

　　４月　入園式

　　６月　内科検診・歯科検診・お泊り保育・年長組遠足（華蔵寺公園）

　　　　　保育参観・各クラス遠足・田植え（ゆずりは会）・引き渡し訓練

　　７月　プール・七夕・納涼祭

　　８月　プール遊び

　１０月　運動会・稲刈り・キッザニア遠足

　１１月　焼き芋・保育見学・芋ほり（年長組）

　１２月　クリスマス会・発表会

　　１月　もちつき

　　２月　節分・年長組ゆきあそび

　　３月　いちご狩り（年長）・ひな祭り・内科検診・卒園式

　毎月・・・誕生会・避難訓練・身長体重測定

※新型コロナウイルス感染症のために中止していたものが少しずつ通常開催となっていった。老人ホームの方との交流も、その時の感染状況を踏まえ、交流を行うことができた。保育参観、お泊り保育もコロナ前と同じように開催をした。やはりオンラインでは体験できない、人との関りができたことはとても良かった。運動会も通常のように行った。発表会は、昨年度から2部制にしたことがとても開催しやすかった為、引き続き2部体制で行った。保護者も参加できる合奏などもあり、楽しんでいただけたよう。年長組は、お泊り保育を再開し、保護者も喜んでもらえた。キッザニア遠足も再開した。保護者も期待を持って送り出してくれた。キッザニア遠足の代わりに行ったノルン水上への雪遊びも好評だったため、今年度も行った。社会福祉法人ゆずりは会さんでの田植え・稲刈り体験も2回目となり、職員も慣れてきた。貴重な体験で、保護者にも好評である。ゆずりは会の利用者の方とも交流を図りながら、子ども達にとっては貴重な体験ができた。自然派農法の為、安心安全なお米ができた。また、芋ほりもサニーズマーケットさんの協力により、今年も収穫体験ができた。卒園式も前年度同様参加人数制限を外して行ったが、昨年度同様zoomでも見られるようにした。式終了後も、キッチンカーが来て、クレープ等を食べながら、卒園児、保護者がゆっくりとしたひと時を過ごしてもらうこともできた。

　来年度より、親子通園事業でペアレントトレーニングの開催があり、研修に参加する職員もいた。

　SDGsに関しても、年長組がオンライン、きちゅうフレンズに参加し、水や海のゴミ、気候変動など世界で困っている事を学ぶ機会を持つことができ、オンラインを視聴した後は、節水に気をつける、ゴミの分別などに興味を示した。

２）食育

　　　離乳食・アレルギー食対応を引き続き行っている。また、栄養士による食育を実施。

　　各年齢の成長段階にあった食育を担任と栄養士で意見交換し、食育を実施している。

　　うどん作り、クッキーづくり、すしバイキングを行った。

　　　特別保育では、カレー作り（ハウスよりいただく）を行うことで、料理への興味・関心が持てる様心掛けた。

　　　月に１回の給食会議では、職員と給食担当者が意見交換をし、行事食は子ども達が目

でも楽しめるメニューとなっていた。年長組は、テーブルマナーを行い、コース料理体

験ができた。

　今年度は、月1回世界の国の料理を食べることを行い、様々な国の料理に触れること

ができた。子ども達が食べやすいように、香辛料を加減しながらの料理にしてもらえた。

３）地域・小学校への関わり

　　　　今年度も、月１回のゴミ拾いを引き続き行う。地域の行事にはまだ参加できてはいないが、少しずつ外に出ていく事を今後もしていきたい。

４）その他

　　　　今年度もオンラインでの研修を受けられる機会が増えたことで、職員研修する機会が増えていた。キャリアアップ研修も積極的に参加をした。中堅職員以上の職員に対しては、保育の研修だけでなく、運営面にも目を向けてもらうような研修にも参加した。（管理職研修・中堅職員研修など）

５）特別保育の実施状況

　①ゆたか保育園（１号定員１５名、２，３号定員　１２０名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| １号 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 9 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| ２，３号 | 108 | 114 | 118 | 118 | 119 | 117 | 115 | 121 | 124 | 124 | 124 | 122 |

　　延長保育事業（標準時間認定）　１８時～１９時　年間延べ利用者数　　１３８人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（令和4年度　　２２９人）

　　　　　　　　（短時間認定）　　早朝１時間延長　年間延べ利用者数　　３人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　後１時間延長　年間延べ利用者数　２，０５６人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　後2時間延長　年間延べ利用者数　１６３人

　　休日保育事業　　　　６１日開所　年間延べ利用者数　　　２９１人

　　　　　　　　　　（令和４年度　６４日開所　年間延べ利用者数　２３２人）

　　病児・病後児保育事業（体調不良児型）年間延べ利用者数　　　９４人

　　　　　　　　　　（令和４年度　年間延べ利用者数　　　９７人）

　　病後児保育事業（伊勢崎市補助事業）　年間延べ利用者数　　４人

　　　　　　　　　　（令和４年度　　年間延べ利用者数　２８人）

　　一時預かり事業（自主事業）　年間延べ利用者数　　　８２人

　　　　　　　　　　（令和４年度　　年間延べ利用者数　１６７人）

②ゆたか第二保育園（１号定員　５名　２，３号定員　４５名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| １号 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| ２，３号 | 40 | 45 | 48 | 48 | 48 | 48 | 48 | 48 | 48 | 48 | 48 | 48 |

　　　延長保育事業　　７時～８時　年間延べ利用者数　62人（令和4年度　117人）

　　　　　　　　　　　８時～９時　年間延べ利用者数　1992人（令和4年度　3106人）

　　　　　　　　　　　９時～１０時　年間延べ利用者数　3671人（令和4年度2192人）

　　　　　　　　　　１０時～１１時　年間延べ利用者数　2005人（令和4年度　470人）

　　　　　　　　　　２２時～２３時　年間延べ利用者数　０人（令和４年度　2人）

　　　　　　　　　　２３時～２４時　年間延べ利用者数　0人（令和４年度　0人）

　　　一時預かり事業（自主事業）

　　　　　　　　　年間延べ利用者数　　87人（令和4年度　161人）

　　　ゆたか保育園・ゆたか児童クラブ対応

　　　　　　　　　年間延べ利用者数　　8人（令和4年度　2人）

　　　児童クラブ（自主事業）　　5年生　１名　　2年生　１名

５）資質向上の取り組み

　　　園外での対面研修にも積極的に参加した。非常勤の職員に対しては、オンライン

　動画などで、勤務時間内に対応できるようにした。海外研修にも2名の参加もした。

６）苦情および要望

　　　特になし

　　要望・質問として

　　　特になし

③ゆたか児童クラブ

１）利用児童数について

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 常時 | 42 | 44 | 42 | 42 | 47 | 39 | 35 | 34 | 31 | 32 | 22 | 26 | 436 |
| 一時 | 178 | 136 | 143 | 285 | 181 | 160 | 168 | 96 | 127 | 214 | 291 | 239 | 2218 |
| 開設 | 20 | 22 | 23 | 21 | 22 | 20 | 27 | 22 | 22 | 21 | 21 | 24 | 265 |
| 平均 | 50.1 | 50.2 | 48.2 | 55.6 | 55.2 | 47.0 | 41.2 | 38.4 | 36.8 | 42.2 | 35.9 | 36.0 | 536.8 |

２）資質向上について　　オンラインでの研修には積極的に参加した。

３）3月に渋川スカイランドパークへバスでの遠足を行った。普段利用していない一時利用

の児童にも声をかけたため、参加人数が多くなった。

令和５年度　事業報告書（支援内容）

１．支援内容について

　Ａ．放課後児童の健康管理、安全管理、及び情緒の安定について

子ども達が学童で伸び伸びと、生き生きと生活ができる様環境整備を心掛けた。子ども達が安心して過ごせるよう、日々のコミュニケーションや観察から、個々に適した支援を行った。また、安全面について、毎日の遊具の点検や室内の清掃、安全点検を行うことで、安全に過ごせる環境を提供した。

　Ｂ．遊びの活動への意欲と態度の形成について

子ども達が自由に伸び伸び遊ぶことができる様、おもちゃや場所などの環境を整えた。遊びに参加できない児童がいた場合、無理に参加させるのではなく、児童の意思を尊重して適切な対応を行うよう努めた。

　Ｃ．自主性、社会性及び創造性を培うための指導について

一人ひとりが行いたい活動を自分で考えて選択できるよう決まった活動を指定するのではなく、幅広く活動に取り組むことができる様、複数の活動を設定した。また、決まった遊びや、活動を設定する際は、自由に児童が考え、活動に取り組めるよう工夫した。

　Ｄ．家庭や地域での遊びの環境づくりに関することについて

家庭でも遊ぶことができるおもちゃ作りを行うことで、児童クラブ以外でも遊びを展開できるよう支援を行った。また、児童の流行などの日々の会話から捉える事で、児童クラブでも行えるような支援を行った。

２．支援員等の資質向上への取り組みについて

積極的に研修に参加し、新しい知識、技術について学んだ。研修後は、参加していない人も交えて振り返りを行うことで、知識の共有を図った。また、活動を行う際にはＰＤＣＡサイクルを取り入れる事で、活動をより良いものになるよう努めた。

３．事業計画の達成度について

子どもの幸せを第一に考えて日々生活する環境や様々な活動を設定、行うことができた。遊びの環境については、前年度おもちゃの片付けが苦手な子が多かったことから、おもちゃの管理の仕方を変える事で、自ら片付けを行いやすい環境を作ることができた。子ども達が居心地の良いと感じる環境づくりを心掛け、毎日楽しんでもらえるようにした。

親子通園

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **R5** | 業務日数 | 延利用人数 |
|  | ４月 | 20 | 82 |
|  | ５月 | 20 | 102 |
|  | ６月 | 22 | 114 |
|  | ７月 | 20 | 115 |
|  | ８月 | 22 | 100 |
|  | ９月 | 20 | 83 |
|  | １０月 | 21 | 113 |
|  | １１月 | 20 | 105 |
|  | １２月 | 20 | 121 |
|  | １月 | 19 | 104 |
|  | ２月 | 19 | 114 |
|  | ３月 | 20 | 133 |
|  | 計 | 243 | 1286 |
|  |  | 242 | 1125 |